

授業科目名	造形表現 (指導法)		科目コード	204015	
開講クラス	こども未来科	コース	保育士・幼稚園教諭	学 年	1 年
担当教員	非常勤講師		実務経験教員 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)		
	実務経験内容 ・ 小学校教諭 3 年、中学校美術教諭 5 年をはじめ短期大学 2 校で造形関連教科を 12 年担当する。保育園から社会人までのワークショップ講師等多数。書籍「幻の小峰焼地域創生と教育・保育の視座」出版 ・ 宮崎学園短期大学 保育科 教授 ・ 近畿大学九州短期大学通信教育部非常勤講師				
開講時期	<input type="checkbox"/> 前期 ・ 後期 ・ 通年 ・ 特別講義 ・ その他		授業コマ数	30 時間	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 ・ 選 択 ・ 選択必須		単 位 数	2 単位	
使 用 テキスト 1	書 名	造形表現 (指導法)			
	著 者	通信教育部			
	出版社	近畿大学九州短期大学			
使 用 テキスト 2	書 名	図画工作			
	著 者	通信教育部			
	出版社	近畿大学九州短期大学			
参考図書	幼児教育の研究 保育内容「造形表現」(株) 萌文書林 2016				
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他 ()				
<授業の目的・目標> ・ 幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園に示された、領域「表現」のねらい及び内容の理解を深める。 ・ 子どもの発達段階を理解し、子どもが楽しみながら、自ら表現できる指導法や対応スキルを身につける。					
<授業の概要・授業方針> ・ これまでの経験を活かし実践的な授業を行うことで、幼児教育現場で活用されている基礎的な美術表現技法を習得する。 ・ 実際に様々な表現方法を楽しみながら学ぶ中で、子どもの発達に即した保育を構想、計画することができるようになる。					
<成績基準・評価基準> 授業の理解度は、授業における発言を含む授業態度と作品制作等で評価します。 ・ 成績基準 優：80 点以上、良：70 点以上、可：60 点以上、不可：59 点以下 ・ 作品制作、提出状況 70% ・ 作品の鑑賞の表現 (感想文含む) 30%					

<使用問題集・注意事項> 特になし
授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他> 特になし

授業科目名	造形表現(指導法)授業	
	授 業 内 容	備 考
1	幼稚園教育の基本、「表現」領域のねらい・内容の理解	
2	作品制作工程の記録・素材・道具について	
3	幼児の造形発達段階と身体発達の特徴①	
4	幼児の造形発達段階と身体発達の特徴②	
5	基礎的美術表現技法① シュールレアリズムとは	
6	基礎的美術表現技法② シュールレアリズム実践	
7	基礎的美術表現技法③ 塑像とは 制作	
8	基礎的美術表現技法④ デッサンの基礎	
9	基礎的美術表現技法⑤ デッサン	
10	基礎的美術表現技法⑥ 塑像の着色	
11	基礎的美術表現技法⑦ 塑像の仕上げ	
12	色彩演習の基礎 暖色・寒色・中間色	
13	色彩演習の基礎演習 暖色・寒色・中間色	
14	作品の鑑賞・表現	
15	まとめ、レポート・課題について	

授業科目名	造形表現(指導法)スクーリング	
	授 業 内 容	備 考
16	領域「表現」ねらい及び内容の理解	
17	領域「表現」のねらい及び内容 発達に即した指導上の留意点の理解	
18	幼児の発達段階を視野に入れた領域「表現」における保育の構想	
19	具体的な保育を想定した指導案内容と作成の理解	
20	幼稚園教育要領における評価の理解	
21	保育実践における評価反省と保育を改善するための視点	
22	小学校教育との円滑な接続の理解	
23	作品制作について、保育現場での教材の活用法	
24	課題作品制作	
25	課題作品制作	
26	課題作品制作	
27	課題作品制作	
28	課題作品制作	
29	作品発表・鑑賞	
30	まとめ・感想レポート	